

## 2 アンケート結果分析

- どの設問項目も、概ね肯定的な結果となりました。特に「設問1の教育活動の満足度」「設問9の子供たちが楽しく学校生活を送っている」は、どちらも90%以上肯定的な結果となりました。教育活動を行う上で、どちらの要素も不可欠であり、土台となるものなので、引き続き、児童や保護者のニーズに主眼を置いた学校運営に努めて参ります。
- 「設問3のわかりやすい授業」「設問8の基礎学力の定着」については、85%以上の方に肯定的な回答を寄せていただきました。児童が主体的に学習を進めるためには根拠となる基礎学力の定着が必要であり、どの子もわかる授業を行うために、引き続き教材研究や学習指導・支援について研鑽していきます。
- 「設問12の家庭学習の習慣」の否定的な回答が約30%となり、今回の設問の中で最も否定的な回答が多くなりました。別途実施した児童アンケートでは、「毎日家庭学習をしている」と回答した児童は90%以上いました。保護者と児童に大きな「ずれ」が生じていますが、これは家庭学習の量が影響していると推測されます。タブレット端末の活用等、学習の仕方は変化していますが、学校として、家庭学習の質と量（取り組む合計時間）について検討し、お子様に家庭で学習する習慣が身に付くよう保護者の方と連携していきたいと思っております。

## 3 主なご意見と学校の見解等【★主なご意見 ⇒学校の見解 自由記述回答数＝83件】

### (1) 学校全体について

- ★登校時に南門・裏門が開いていない時があります。正門までの道は危なく感じる時があるので、子供たちの安全が気になります。⇒開ける時間が遅くなる時がありました。特設クラブ（部活動）参加児童の登校前に、それぞれの門を開けるよう徹底していきます。
- ★「ランドセルが重い」と感じます。教科書及び学習用具（絵具・習字セット）の持ち帰りについて、検討していただきたい。⇒小学生の荷物の多さは社会的にも取り上げられ、問題になっています。今年度より1人1台端末の持ち帰りも始まったので、学校として教科書等の持ち帰りについて検討し、学年に応じた見直しをしていきます。新年度に改めて連絡いたします。
- ★授業参観等の行事の連絡（中止・延期を含む）をもっと早くしてほしい。また、授業で準備する物も直前ではなく、余裕をもって知らせてほしい。⇒今年度も感染症の影響で、急な連絡が多くなり申し訳ありません。感染症対策を講じて、なるべく中止・延期を避けることを検討していた分、遅い判断となってしまいました。授業の準備物も早くお知らせできるよう努めていきます。
- ★お便り等の電子化を希望します。資源の節約にもつながります。⇒お便り等の電子化は、関係省庁より推進するよう通知がありました。内容によって、紙媒体とデータを使い分けていきたいと思っております。
- ★地域や各家庭と学校の関わりが制限されています。オンラインでの個人面談や学級懇談会を望みます。また、子供たちの学校の様子を知る機会が大きく減少しています。コロナ禍においても、人数制限やライブ配信等の工夫をし、極力行事や学びを止めずに教育活動を続けてください。⇒多くの制限の中でも教育活動を持続させることは、学校運営上重要なことと捉えています。その際、オンラインやその他情報機器の活用は大変有効であり、より効果的な活用を探っていきます。子供たちの様子を見ていただくという視点でも、検討していきます。（今年度は学校ホームページにて動画配信を行いました）

### 【1人1台端末について】

- ★1人1台端末が配付されましたが、学年間で取組の差があるように感じます。周辺校に比べ、取組が遅れているのではと、やや不安に思うことがありました。★タブレット端末の宿題は少しやりづらそうに見えました。また、書く習慣が少なくなることも心配です。特に連絡については、従来どおり連絡帳に書くようお願いしたいです。★配付された端末を使用し、遅くまでチャット機能でやり取りをしたり、動画を見たりすることがありました。一部の機能を制限する対応はしていただきましたが、使用のルールについて、指導してほしい。⇒柏市GIGAスクール構想に則り、初年度の今年は、「まずは使ってみる」を合言葉に取り組んでまいりました。取組が進んだ学年・学級の授業事例は研修を通して、共有しています。今後は、さらなる効果的な活用を模索し、教育効果を高めていきたいと

考えています。また、従来の「書く活動」も基礎を養う小学校では、大切な活動であり、学習に中に位置付けていきます。連絡帳については、学年の実態により検討し、職員で共通理解を図っていきます。最後に端末使用のルールについてですが、配付された端末はあくまでも学習用であり、ある程度の制限等を行いながら、活用を進めていきます。端末の適切な使用には、ご家庭との連携が不可欠なので、足並みをそろえて、子供たちを見守っていただきたいと思います。

#### (2) 教職員の指導・支援に関すること

★学習内容がわからない児童には、きめ細かく支援をしてほしい。また、教師の目が行き届いていないところで問題が起きているので、もっと丁寧に見てほしい。⇒休み時間や放課後、学年によっては学習会を実施し、基礎基本の定着を図っているところです。ただし、時間も人も不足しているのが現状です。必要なところに担任以外の職員をできるだけ配置し、生徒指導の面からもサポートしていきます。

★言動等、不適切に感じる指導がありました。子供に共感する姿勢で指導をお願いします。⇒児童を指導する際、高圧的な指導や不適切な言動があつては、全く効果がありません。まずは共感し、本人に気付かせるような指導を行っていきます。また、その素地として、児童と教師との信頼関係を築くことが大切なので、日常の学校生活を通して児童理解に努め、一人一人との関係を深めていきます。

#### (3) 学校行事について

★コロナ禍の中、校外学習や運動会を実施していただき、感謝しています。運動会は学年別の実施でしたが、保護者が少ない分、間近で子供たちの様子を参観することができました。★行事が縮小傾向なので、残念に思います。⇒中止となった行事が多い中、保護者の皆様のご理解のもと、修学旅行・自然体験教室・各学年の校外学習・学年別運動会は実施できました。まだまだ感染症の状況は好転しませんが、児童の安全を第一に教育活動を実施していきます。併せて、行事については、授業時数の確保等々の観点から精選していく傾向にあります。

#### (4) PTA活動・ボランティア活動について

★PTA活動が負担である。共働き世帯が増えている現状を理解してほしい。⇒各家庭、様々な事情があることは承知しており、PTA本部とも共通理解しています。今後とも、無理のない範囲でご協力いただけたら幸いです。併せて、全ての保護者にその意識が醸成されるよう機会を見て、PTA本部と協力して広報していきます。

★いつでも落ち葉清掃ができるようになり、仕事をしている身としては、ありがたいです。いつでも参加できるので、学校への関心が高まったり、他の保護者と顔見知りになれたり、良いことが増えると思います。⇒無理なく参加していただける取組となり、うれしく思います。今後も、教育環境整備等で随時お願いをすることがあるかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

#### (5) その他

★給食は、自分で食べる量を調整できると安心できるようです。担任が変わり、方針が違うと、子供たちは混乱するので、学校で統一してほしいです。⇒自分が食べられる量を調整することは、自分の体や健康を管理するために、必要な力の一つです。同時に、成長期にある子供たちですので、バランスの良い食事の摂取も必要です。無理して食べさせるような指導はせずに、本人と家庭に相談しながら、その時点で望ましい食事量になるようにしていきたいです。

★不審者情報が多いので、登下校の見守りをもっと強化できればと思います。ボランティア等を募るのであれば協力したいです。⇒不審者情報が入った時は、学級指導と保護者への注意喚起のメールを配信しています。また、関係機関や近隣校とも情報を共有しています。引き続き、地域・保護者の皆様と連携しながら、子供たちの見守りを行っていきたく思います。緊急時等、見守りのボランティアを募ることも考えられますので、ご協力をお願いします。

※自由記述では83件のご意見等をいただきました。たくさんの感謝や労いの言葉があり、大変ありがたく感じております。今回は複数意見があつたものを掲載しましたが、個別のご意見についても検討し、改善につなげていきます。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。